

住人十色

第
153
回



◎「東京大会は楽しみがいっぱい」と笑顔を見せる2・3年生の部員の皆さん

大舞台で伝えたい、喜びと感謝。 内子高等学校郷土芸能部が全国へ

内子高等学校郷土芸能部2・3年生の皆さん

内子高等学校郷土芸能部の2・3年生13人は、8月2～4日に開かれる「第46回全国高等学校総合文化祭・東京大会（以下、高文祭）」に出場します。2年前の高文祭は、新型コロナウイルスのため会場での演奏ができなかったそうで、部長の弦田雪那（ゆきな）さんは「1年生の時、先輩たちの悔しそうな姿を見た。今回は観客の前で演奏できる喜びをかみしめ、先輩たちに教えてもらった太鼓の楽しさを、舞台の上で思い切り伝えたい」と思いを語ります。

現在の2・3年生は女子ばかり。高文祭で演奏する「五十崎大風出世太鼓」は、勇壮な大風合戦を表現するため、持久力や力強さが必要です。余裕を持って叩けるようにランニングや打ち込みを増やし、体力をつけてきました。よりきれいに力強く見えるように叩き方を変えたり、アレンジを加えたり工夫をして舞台に臨みます。

弦田さんは「みんなと一緒に作り上げ、一緒に成長してきた。頼りになる仲間と部活を続けられたことに感謝」とにっこり。「高文祭で結果を残すのも目標だけど、私たちにとっては8月13日の定期演奏会が3年間の集大成を披露する場。最後まで向上心を忘れず、顧問の森本先生をはじめ、多くの人に私たちの成長した姿を見せたい」と目を輝かせていました。

編集 幸記

▽最近出合った衝撃の競技、『こん棒飛ばし』。大きなこん棒を振り下ろして小さなこん棒を飛ばすのですが、なぜか血が騒ぎます。高校時代はやり投げに情熱を注いだ私。こん棒とやり…大昔の先祖は狩人だったのかな（裕）
▽初めて巻頭フォトトリポートを担当しました。母校を訪れたとき、自分の中学時代の恩師に声をかけてもらいました。20年以上前の生徒を判別できる先生の記憶力はすごいです。印象に残るような悪さはたぶんしてないと思うのですが……（史）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

